2020 SSRC 連続オンラインセミナー

「企業のエシカル通信簿」

持続可能な社会に向けて私たちにできること 2020年10月12日·26日·11月10日·24日 19:00~20:45

登壇日: 10/12 210/26 311/10 411/24 エシカル通信簿の担当分野



杦本育生〔認定NPO法人環境市民代表理事/SSRC 共同代表幹事〕 (1) (4) 環境(環境ガバナンス) / 社会・

1992年に「環境市民」を創設。COP3時にはホストNGO「気候 フォーラム |を立ち上げ、事務局次長として各地で講演。2万人を集 めた「京都で決めよう市民大行動」を企画。日本初のグリーンコンシューマー活動を 具体化し各地に活動を広げる。本ネットワークの設立他、2001年より全国の NGOに呼びかけ「環境首都コンテスト」を企画実施、その後「環境首都創造ネット ワーク」を展開。環境NGO/NPOの専門領域を超えた全国ネットワーク「グリーン 連合」の立ち上げに加わり、共同代表幹事も務めている。



古谷由紀子 〔サステナビリティ消費者会議 代表

/ SSRC 共同代表幹事〕 (1) 持続可能な開発 / 消費者 消費生活アドバイザー、博士(総合政策)。主な活動として、 企業へのCSR、SDGs、人権、安全、コンプラアンス等に関 わるダイアログ・委員会等への参画のほか、消費者への持

続可能な消費に関する啓発・教育などに関わっている。主な著作物に 「現代の消費者主権」(2017)がある。



有川真理子 (SWAVE サステナブルコミュニケー ションプランナー / SSRC 広報担当〕

③ 環境 (気候変動 / 水)

環境市民にてグリーン購入、エシカル消費にかかわる事業のコーディ ネート、国内外の調査を行う。現在はコミュニケーションからサステナビ

リティを高める取り組みとして、企業やNGOの広報のプランニングやライティング、編 集などを行っている。



小山澄子 〔消費生活実践グループin秋田 代表〕

環境カウンセラー(市民部門)、高校総合学習の社会人講師、企 業との協力、こどもエコクラブのサポーター等を20年行ってきた。

PLT/WET/WILDの手法を取り入れ、幼児から大人までの環境教 育及び指導者養成講座を主催し、大学生と共同事業を開催。消費生活と環境 問題のかかわりについて普及啓発を行いつつ、ゆるやかに秋田大学で生涯学習中。



岡田千尋 〔認定NPO法人アニマルライツセンター 代表 理事 / 一般社団法人日本エシカル推進協議会 理事〕

2 アニマルウェルフェブ

2001年からアニマルライツセンターで調査、戦略立案などを担い、 2003年から代表理事を務める。毛皮反対キャンペーンでは、10年

間で日本の毛皮消費量を80%減少させた。主に畜産動物のアニマルウェルフェア 向上や動物性の食品や動物性の衣類素材の削減、エシカル消費の普及に取り 組んでいる。ヴィーガンエシカルな情報サイトHachidoryの運営も行う。



阿部晴子 (NPO法人えこひろば 代表理事 / グリーン 購入ネットワーク理事〕 ② 環境(ごみ削減)

資源やエネルギーを大切にする暮らし方を地域に広げたい と、2000年に仲間と「えこひろば」を設立し、主に東 京・世田谷で身近な環境問題やごみ減量・リサイクルにつ

いての啓発活動を続けている。



芦田育美(福知山環境会議「福知山グリーン生活情報 マップ作成プロジェクト」担当幹事〕

② 環境(化学物質)/消費者

2003年より「福知山市環境基本計画」の策定に参加、事業者・ 市民・行政の協働組織・福知山環境会議を設立し、「福知山グ

リーン生活情報マップ作成」プロジェクトを計画。消費活動と環境課題の関わりに ついて若い世代と対話することを目指して活動中。2015年の「グリーンコンシュ マー全国一斉店舗調査」では福知山市内調査を担当。



○ 消費から持続可能な社会をつくる 市民ネットワーク(SSRC)とは

2016年1月発足。環境・人権・消費者・アニマルウェルフェアなど の多様な分野を専門にする北海道から沖縄まで39の市民団体 が参画し、企業調査や情報発信、セミナーの開催等を行っている。 http://cnrc.jp/ https://www.facebook.com/cnrc.jp/



武田裕希子(ウータン・森と生活を考える会 エデュケーター〕 (2) 環境(生物多様性)

ウータン・森と生活を考える会のボランティアメンバーとして、熱帯林 の仲間とつながりながら、在来種による森林再生やエコツーリズム、 日本でのパーム油問題に関する普及啓発活動等に10年程関わっ

ている。現在は大学院で森里海連環学を学び、森林と地域住民の関わりなどに ついて環境教育の視点で研究を進めている。



山岡万里子〔ノット・フォー・セール・ジャパン(NFSJ) 代表

/ SSRC 共同代表幹事〕 ③ 人権・労働 出版翻訳に十数年たずさわった後、バットストーン著『Not For Sale』を自ら企画翻訳した(『告発・現代の人身売買』)ことから、 米国のNGO(Not For Sale)の日本支部として、2011年夏に

NFSJを設立。講演・出張授業・イベント出展・映画上映・情報発信などを通じ、 人身取引問題の啓発に取り組んでいる。また人身売買禁止ネットワーク (JNATIP) 運営委員として、政府や国際機関への働きかけを行っている。



石崎雄一郎〔ウータン・森と生活を考える会 事務局長〕 3 環境(生物多様性)/平和・非暴力

2008年にホルネオに行き、森林再生に取り組むNGOや村人に出 会う。熱帯林破壊を止め、森林を再生すると共に、熱帯林とつなが

している。



鈴木希理恵 〔認定NPO法人 野生生物保全論研究会 事務局長〕 ③ 環境 (生物多様性)

1990年から財団法人日本自然保護協会、1999年からは野生 生物保全論研究会で勤務。現在はおもにワシントン条約を中心に 絶滅危惧種の国際取引や、野生生物の保全と利用をテーマに研

究会の開催や、調査提言、普及啓発活動を行っている。



田崎由子 〔福島県消費者団体連絡協議会 事務局長〕

2008年より福島県消費者団体連絡協議会の事務局長を務める。 環境問題や家計管理に興味があり、2003年よりうつくしま地球温 暖化防止活動推進員として学校、公民館等で出前講座を実施。

イベントでは環境ブースを出展し活動している。



小吹岳志 〔日本フェアトレード・フォーラム 監事〕

アジア協会アジア友の会(NGO)、フェアトレード・サマサマ、日本フェ ▼アトレード・フォーラムで、長年フェアトレードの普及・実践に努めてい る。またオイコクレジット・ジャパンの事務局長として、途上国のマイク ロファイナンス機関等への出資を呼びかけている。他に、ワンワールド・フェスティバル



実行委員。

下村委津子〔認定NPO法人環境市民副代表理事/ SSRC 事務局担当〕④(各回司会)

環境(環境ガバナンス)/ 消費者 / 社会・社会貢献

97年京都でのCOP3で何が話し合われ暮らしとどう繋がっているの かをわかりやすく市民に伝えるため、地元放送局のラジオ番組で毎

日情報を伝える。これまでグリーンコンシューマー活動や環境教育活動に携わり、 「年齢性別を問わず、生命あるものすべての存在が価値あるものとして大切にされ、 誰もが安全に安心して活き活きと暮らせるまち」そんなまちの誕生を目指し活動中。

どなたでもご参加いただけます。 参加をご希望の方は下記の フォームよりお申込み下さい。



https://forms.gle/U74gAdUdZ2ZNEsuK7

フォームを利用できない方は、下記メールアドレスまたはFAXにお名前、ご所属、連絡 先 (電話、アドレス) を添えて、参加希望日を明記のうえ、お申し込みください。メー ルの件名は「SSRC連続オンラインセミナー申込」としてください。

メール <u>ssrc@kankyoshimin.org</u> FAX 075-211-3531 (事務局・環境市民内)